

森林資源を活用した J-クレジット創出事業への対応について

出雲市環境総合計画に基づき、脱炭素社会の構築を図ることを目的に、森林 J-クレジット創出に向けた取組を進める旨、令和 7 年度 9 月議会で報告したところです。

その後、令和 7 年度に実施したポテンシャル調査（可能性調査）の結果を踏まえ、下記のとおり森林 J-クレジット創出事業の事業化を一旦見合わせることにします。

記

1. 森林 J-クレジット事業の概要及び当初スケジュール

中長期的な視点で持続的な森林経営活動が計画されている森林において、森林が蓄えている炭素蓄積の増加分を吸収量として算定し、販売する事業

令和 7 年度 可能性調査の実施

令和 8 年度 プロジェクト計画書の審査・登録

令和 9 年度 クレジット販売の開始

2. 令和 7 年度に実施した可能性調査の結果

計画期間（令和 8 年度～令和 15 年度（8 年間））において、十分なクレジット創出が見込めないことが判明し、事業収支が赤字となる試算結果となりました。

「森林 J-クレジット創出試算結果（8 年間分）」

（単位：t-CO2）

項目	試算結果	備考
クレジット創出量	2,403	①吸収量－②排出量
①吸収量(t-CO2)	13,305	間伐による森林の炭素蓄積増加量
②排出量(t-CO2)	10,902	主伐による森林の炭素蓄積減少量

（単位：千円）

③概算収入(千円)	18,488	クレジット販売額
④概算費用(千円)	20,644	クレジット創出に係る費用（認証・モニタリング等）
概算収支(千円)	▲2,156	③概算収入－④概算費用

（委託業者：㈱地域創生 Co デザイン研究所）

3. 今後の対応

脱炭素社会の実現に向けた取組については、「いずもの森」ブルースカイ・グリーン計画（令和 7 年 3 月策定）に基づき、森林資源の循環利用を強力に推進します。具体的には、高齢化した人工林の主伐と跡地への再造林により森林の二酸化炭素吸収力を高めるとともに、伐採木材の建築物等への利用による炭素の蓄積を図ることとします。一方、森林 J-クレジットの創出に向けた取組については、「いずもの森」ブルースカイ・グリーン計画の進捗状況を見ながら、改めて実施時期を検討します。